

「こんな図書館になったらいいね」の声を紹介

市では、これまで図書館の今後のスガタについて、図書ボランティア・学校司書の皆さんと話し合いを行ってきました。

また5月からは市内各団体のもとへ出向き『出張座談会』と題し、意見交換の場を設けています。

前回に引き続き現場の最前線で活躍いただいている方などからの視点/ヒントとして、意見交換内容(キーワード)の一部を紹介いたします。

Q. 行きやすいとは?

- ◆ 図書館だけに行くというよりも「何かのついで」に気軽にかけられる場所やまちの中心地がやっぱり行きやすいよね。
- ◆ 図書が1フロアで収まっている方が便利かもね。
- ◆ 図書の貸出に関しては、あらかじめ予約をして、カウンターや市内に11か所ある『いつでもどこでも図書館』の拠点で受け取るという方法もあるね。



Q. ズバリ! 図書空間活用法は?

- ◆ これからの図書館は単に本を借りに行く場ではなく、人と人がつながり合う場、文化を培う場であってほしいな。
- ◆ なにより魅力的な空間にすることが大切だね。オシャレな本棚があると本を手に取りやすくなるし、憩いの場にもなるね。
- ◆ コーヒーを飲みながら、飲食しながら読書したいな。のんびり1日が過ごせるような空間が望まれるよね。
- ◆ 電子図書を導入すると、もっと便利になるかもね。

今後の図書の“館(やかた)”のカタチ

高浜市立図書館は築43年が経過し老朽化が著しい状態であること、また近年図書館や図書を取り巻く潮流が大きく変化するなかで、平成28年策定の「高浜市公共施設総合管理計画」において、「改善の対象施設(複合化や機能移転などを図る施設)」として位置づけられています。

計画にもとづき、現在、今後の図書館が果たすべき役割をいまの施設・場所で担っていくことができるか、そんな視点で考えながら今後の“館(やかた)”のカタチを描いているところです。

市内のかぎられた資源(施設)のなかで、図書館の求められる効果が発揮できるよう、高浜市の特徴にあわせてポイントを絞った運営をめざしていきたいと考えています。

Q. 具体的にはいつ・どうなるの?

『広報たかはま』6月1日号で紹介した、子育て・教育・福祉との連携が期待できるまちの中心地の「いきいき広場」および市内随一のロケーションで非日常空間へ誘う文化拠点「かわら美術館」、また両施設の特徴を活用した「両施設併用」で複合化する案などがあります。令和3年度中に、新たな図書館運営の方向性(案)、そして図書機能の移転先についてとりまとめる予定です。

- ◆ 図書館での催しに関しては19ページに記載がある「図書館情報」や図書館公式ホームページ、フェイスブックおよびツイッターを確認してください。
- ◆ 今後も図書館の取り組みなどについては『広報たかはま』においてお知らせします。



▲ホームページ



▲フェイスブック



▲ツイッター

問合せ先 [いきいき文化スポーツグループ](#) ☎ 52-1111(内線331)

これからの 図書館の カタチカラ

こんな図書館になるといいかな②

第8回

これからの図書館が果たすべき役割
求められる機能

高浜市において、これからの時代にふさわしい「図書館のあり方」(役割・必要な機能)について、『これからの図書館のカタチ・チカラ』と題して、『広報たかはま』などをとおして市民の皆さんとともに考えていきます。

今号では今後の図書の空間や設備(ハード面)に関して、これまで意見交換してきた方々の声を参考に図書館のスガタを考えていきます。

この連載に関する感想などは、こちらのアンケートフォームから



座談会のようす